

# 緊急地震速報が鳴ったら

## 最優先で身の安全を確保してください!

緊急地震速報が鳴ってから強い揺れが来るまでの時間は、数秒～数十秒しかありません!

### 大切な命を守るため必ず実行してください!

- 1 隠れる場所を **すぐに探す**
- 2 机やテーブルがあれば **隠れる**



### 身の安全を確保するために、次の行動を必ず覚えておいてください!

## 机やテーブルの下に隠れる

丈夫な机やテーブルの下(物が「落ちてこない・倒れてこない」場所)に隠れ、身の安全を確保する。足をしっかりつかんで強い揺れに備える。



阪神・淡路大震災では、6,400人を超えるかたが亡くなり、その死亡原因の約9割が家屋の倒壊や家具の転倒などによる窒息・圧死でした。地震から命を守るためには、物が「落ちてこない・倒れてこない」場所で、身の安全を確保することが何より大切です。緊急地震速報が鳴ったら、すぐに机やテーブルの下に隠れてください!

屋内にいるとき

机やテーブルが近くにない場合は

屋外にいるとき

### 「その場にあるもの」で頭を守る

枕やカバン、買い物かごなど、その場にあるもので頭を守り、何もなければ、上着で頭を覆うか、手で頭を守る。物が「落ちてこない・倒れてこない」場所に移動し、身をかがめる。



### 危険な場所から離れる

ブロック塀、自動販売機、古い建物などのそばから離れる。ガラスや看板、瓦などの落下物に注意して、カバンなどで頭を守り、広いところに移動する。



### 緊急地震速報! こんなときは?

●車を運転しているとき  
ハザードランプを点灯して、ゆっくり道路の左端に寄せて止まる。



●電車・バスに乗っているとき  
座っている場合は、低い姿勢をとってカバンなどで頭を守り、立っている場合は、つり革や手すりにしっかりつかまる。



●エレベーターに乗っているとき  
全ての階のボタンを押して、止まった階で降りる。



## 緊急地震速報とは

地震発生後、大きな揺れが到達する前に、「もうすぐ大きな揺れが来る」と知らせる警報です。揺れる数秒～数十秒前に、テレビや携帯電話などから独特の報知音が鳴り、予測される揺れの大きさなどが表示されます。携帯電話には、緊急速報メールとして配信されます。

## 大阪880万人訓練

「大阪880万人訓練」とは、防災週間(8月30日㊤～9月5日㊤)に合わせて、大阪府から府内にいるみなさんの携帯電話へ緊急速報メールを一齐に配信する訓練です。訓練に参加し、地震発生時にどのように対応するのか考え、行動するきっかけにしてください。

## 9月2日(金) 訓練用の緊急速報メールを配信します

- 午後1時33分 大津波警報(府から訓練用の緊急速報メールを配信)
- 午後1時35分 緊急速報メール(市から訓練用の緊急速報メールを配信)

### Q 前回の訓練の際、お持ちの携帯電話で緊急速報メールを受信できましたか?

- 1 受信できた
- 2 受信できなかった
- 3 前回の訓練以降に携帯電話を買い換えた

今年も受信できます

緊急速報メールを受信できるかご確認ください

※平成24年9月5日以降に発売された機種については、全て緊急速報メールに対応しています。ただし、受信できるよう設定変更が必要な機種もあります。

各携帯電話会社の【緊急速報メール】の設定方法については下記のQRコードから確認ができます

<b>NTTドコモ</b> 『緊急速報「エリアメール」』設定方法 右のQRコードから または「総合案内」NTTドコモの携帯電話から <b>151</b> (無料)	<b>au</b> 『緊急速報メール』設定方法 右のQRコードから または「総合案内」auの携帯電話から <b>157</b> (無料)	<b>ソフトバンク</b> 『緊急速報メール』設定方法 右のQRコードから または「総合案内」ソフトバンクの携帯電話から <b>157</b> (無料)	<b>楽天モバイル</b> 『緊急速報メール』設定方法 右のQRコードから または「問い合わせ窓口」050・5434・4653 (有料)
--	---	---	---

※上記でご確認いただくか、お近くの携帯電話ショップにお問い合わせください。上記以外の携帯電話をお持ちのかたは、各携帯電話会社にお問い合わせください。

### 両手が自由になるリュックがベストです! 災害時を想定して非常用持ち出し袋を準備しておいてください!

停電・断水時や、緊急の避難時に、すぐに使用したり、持ち出すことができるよう、備蓄品の一部や無いと困るものをリュックなどにまとめて、玄関周りに置いておきましょう。

- 乾電池
- 携帯ラジオ
- 懐中電灯
- モバイルバッテリーと携帯電話用充電ケーブル
- 簡易トイレ
- ウェットティッシュ
- 笛・ホイッスル(助けを呼ぶため)
- 無いと困るもの
- 水を少しと軽い食糧
- 赤ちゃんのミルク・おむつ
- いつも飲んでいる薬
- コンタクトレンズ(または予備のメガネ)
- 生理用品
- ティッシュ
- マスク
- 体温計
- 消毒用アルコール

### コロナ禍での避難を想定して、次の備えをしておいてください!

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、避難所開設時は、十分にスペースを確保するなどの対策を行いますが、一度に多くのかたが避難することも考えられます。事前に次の備えをしておいてください。

- マスクなどの感染防止対策品を準備する  
避難所では、各所に消毒用アルコールを設置し、マスクや体温計などの備品を用意しますが、数に限りがあります。これらの感染防止対策品は、普段から非常用持ち出し袋に入れておき、避難時に持参してください。
- 親戚や、友人宅への避難を検討する  
避難所の密を避けるため、可能な場合は、ハザードエリア外にお住まいの親戚や、友人宅への避難をご検討ください。

### この機会にご家族で災害用伝言ダイヤル(171)の使い方を練習しておいてください!

家族みんながバラバラでいるとき、地震が起こったら、どうやって連絡を取りますか?家族で防災のことを話し合い、いざというときの連絡方法を確認しておいてください。体験利用日にNTTの災害用伝言ダイヤル(171)を実際に使ってみることができます(災害時以外は使えません)。災害用伝言ダイヤルについて、詳しくは同ダイヤルホームページ(QRコード)をご覧ください。



体験利用日

- 防災週間…8月30日午前9時～9月5日午後5時
- 毎月1日及び15日
- 1月1日～3日
- 防災とボランティア週間…1月15日午前9時～21日午後5時

24時間いつでも使えます!

※通常、電話をかける場合と同様の通話料がかかりますのでご注意ください。

# 命のパスポート

シリーズ135

# 今年も「大阪880万人訓練」が実施されます

# 緊急地震速報!

そのふしぎなふしぎ